## 別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【平成27年度】

主管課名(担当名)			介護福祉課(高齢者福祉担当)						
	事務事業名(事業番	号)	老人福祉施設建設等補助事業			事業番号	12188		
	重点プロジェクト	口該当	■非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託		

## 1 施策体系

施策体系との関連・	施策区分	1−6 高齢者介護の充実
	施策目標	人と人が支え合い高齢者が安心して暮らせるまち

## 2 事務事業の概要と目的

- ナルナネッパメニロド	777XVWXCD117					
対 象	事務や事業が対象としている人 や団体など	老人福祉施設				
·1 - 55×	対象者の今後の予想	高齢者の増加に伴い、施設入所希望者の増加が予想されます。				
活動内容	高齢期を迎え心身の機能が低下しても、できる限り自立していきいきと生活できるよう、また、介護					
(事業の概要や具体的な内 容、方法など)	状態になったとしても、必要な支援を受けながら安心して暮らし続けることができるよう住の場を高齢者の身体状況や生活状況に応じて安定的に確保します。					
意 図						
(どの様な成果を得ようとして いるのか)	入所待機者ゼロを目指し、必要	要なときに必要なサービスが提供できるよう施設を整備します。				

3 事務事業の現状 (単位:千円)

3 事務事業の現状 (単位:千円)									
	活動指標名	計画値 (H27) H27	実績値				目標値	目標値	
	/D 30/10/18**LI		H27	H28	H29	H30	H31	(H32)	(H37)
1	施設入所者(1日あたり)	180人	171人					185人	190人
2	施設通所者(1日あたり)	75人	78人					80人	85人
3									
4									
古光幕 (一丁和古明)				H27 <sup>.</sup>	予算	H27決算		H28予算	
事業費(=下記内訳計)				16,970	16,969		16,441		
	国道支出金								
内	地方債								
訳	その他								
	一般財源				16,970	0 16,969		16,441	
人員(人工)				0.08 0.08		0.08			
職員人件費 (=人員(人工)×8,081千円)				646 646		646			
総事業費 (=事業費+職員人件費)				17,616		17,615		17,087	
単位コスト実績値 1 (=総事業費・成果実績値)				97		103	3		
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)									

## 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題	について記入)				
見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない				
見直しの内容など	高齢者人口が増加する中、今後において施設への入所・通所のニーズは高まると予想されるため、 適切な施設配置を検討する。				
今後の動向・市民ニーズなど	高齢者人口が増加する中、施設への入所・通所のニーズは高まると予想される。				
5 事務事業の評価					
	■結びついている □一部結びついている □結びついていない				
ア. 意図する成果に有効に結 ア. びついていますか	第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において目標とした施設確保の状況は100%の達 成率となっている。				
	■可能 □一部可能 □不可能				
市以外がその事業に取り イ. 組むことは可能ですか (民間、NPO等)	事業内容が施設入所待機者ゼロを目指し、必要なときに必要なサービスの提供を可能とするため の施設整備の補助を目的としている。				
	□ある □一部ある ■ない				
ウ. 事業内容の中で、見直し ウ. を行う必要はありますか	現在、施設において入所の受入が可能である。				
	□ある □一部ある ■ない				
単位コストまたは事業費 エ. を工夫できるアイデアは ありますか	施設整備(建設費)を補助しており、事業費を工夫することは不可能である。				
	□ある □一部ある ■ない				
オ. 他の事業との統合につい て可能性がありますか	各施設への補助であり、施設整備を目的としているため、他の事業との統合はできない。				
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある				
受益者に負担をいただく カ. (又は負担を見直す)可 能性はありますか	施設整備を目的としているため、負担をいただくことはありません。				
6 事務事業の今後の方向性					
今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了				